

(1)学校経営の改革方針における今年度の重点取組についての評価結果

項目	行動計画の目標・評価方法	達成状況・評価結果	具体的取組に関する成果や課題
進路指導	<p>1 『くくり募集・コース選択制度』の利点を生かした指導計画の充実を図り、基礎基本を大切に魅力ある授業づくりとコース選択の満足度を高めます。</p> <p>(1) 面接指導、ガイダンス、実習見学会を定期的に実施し、生徒の興味・関心、適性、進路希望に即したコース選択ができるようにします。</p> <p>(取組状況の指標:面接指導6回、ガイダンス6回、実習見学会2回実施)</p> <p>(達成状況の指標:選択後の満足度90%以上)</p> <p>(2) 進学希望の生徒は、進学対策としての面接指導、実力アップのための模擬試験、進路ガイダンス、オープンキャンパスへの参加等を通して進路希望の実現を目指します。</p> <p>(取組状況の指標:面接指導3回、模擬試験2回、オープンキャンパスへの参加)</p> <p>(達成状況の指標:進学希望の実現100%)</p>	<p>(1) コース選択面接指導6回、ガイダンス6回、実習見学会2回をそれぞれ実施した。選択後の満足度は96.9%である。</p> <p>(2) 進学希望者には、3学年において模擬試験を2回と学研模試を実施。2学年においては、実力診断テストを2回実施。また、各自が複数校のオープンキャンパス等へ参加した。面接指導は、個人面接形式で3回実施。集団面接形式で1回実施した。その結果、進学希望者は全員希望を達成することができた。</p>	<p>(1) コース選択制度について高い満足度を得ることができている。さらに満足度を高めるために、各コースの内容の充実を図るとともに確実に指導等を行っていききたい。</p> <p>(2) 進学希望者を対象に、放課後に補習を実施し、試験に向けて生徒の学習意欲向上を図った。その成果として、国立大学AO入試で合格者を出すことができた。今後も、引き続き補習等を実施し、生徒の意欲喚起を図っていききたい。オープンキャンパス等への参加は、進学校決定のためにも必要であり、今後も積極的に参加を呼びかけていきたい。</p>
	<p>2 先進的取組を進めてきたインターンシップの蓄積と継続の基に「日本版デュアルシステム」のさらなる発展・進化を図り、キャリア教育の充実、進路希望の実現を目指します。</p>	<p>(1) インターンシップ(産業現場実習)に、2年生157名が71社に分かれ参加した。企業アンケートから多くのご意見を聞くことができ、今後の改善につなげていきたい。また、生徒アン</p>	<p>(1) 2年生全員が産業現場での実習を体験することにより生徒の職業観や勤労観の向上につなげることができているおり、今年度の就職状況にもその成果が現れている。今後も桑名商工会議所との連携を深め、インターンシッ</p>

<p>(1) インターンシップ(産業現場実習)を、個々の適正を考慮しながら2学年全員を対象に実施し、勤労観・職業観の育成を図ります。 (取組状況の指標:7月に5日間実施) (達成状況の指標:企業アンケート・生徒アンケートの結果)</p> <p>(2) 日本版デュアルシステムとして企業実習を実施し、生徒の勤労観・職業観の育成を図るとともに技術・技能の向上を目指します。 (取組状況の指標:1年生10日、2年生20日、3年生17日実施) (達成状況の指標:企業アンケート・生徒アンケートの結果)</p> <p>(3) 就職希望の3年生対象に、就職試験対策としての面接指導、進路ガイダンス、企業見学等を実施し、進路希望の実現を目指します。 (取組状況の指標:面接指導3回、適性検査2回、企業見学2回以上) (達成状況の指標:学校斡旋希望者の就職希望の実現100%)</p> <p>(4) 企業等から講師を招き、進路講話を実施して生徒の進路意識を高めます。 (取組状況の指標:進路講話2回以上実施) (達成状況の指標:生徒アンケートの結果)</p>	<p>ケートから勤労観・職業観の向上が見られた。</p> <p>(2) 1年生22名、2年生13名、3年生21名が参加した。企業アンケートから多くのご意見を聞くことができ、今後の改善につなげていきたい。また、生徒アンケートから勤労観・職業観の向上が見られた。</p> <p>(3) 個人面接形式で3回、集団面接形式で1回実施した。また、グループワーク形式での面接にも対応した。また、事前企業見学は1人平均2.96社を見学した。その結果、11月には学校斡旋による就職希望者全員が内定をいただいた。</p> <p>(4) 企業から経営者、人事担当者を講師として招き進路講話を3回実施した。</p>	<p>プ、デュアルシステムの充実に努めていきたい。</p> <p>(2) 受入企業にデュアルシステムと訓練プログラムの意義を確実に伝えるとともに内容の充実に努めていきたい。そのため、関係者懇談会を継続して実施し、連携をさらに深めていく必要がある。</p> <p>(3) 今年度は就職試験に備えて2学期始業式を8月に繰り上げ面接指導等の充実に備えた。面接指導を複数回実施することにより、生徒が企業面接に自信を持って臨むことができた。また、企業見学を積極的に進めることにより、受験企業の決定を円滑に進めることができた。今後も積極的に見学を進めていきたい。</p> <p>(4) 生徒アンケートの結果より、様々な社会の状況や職業選択、社会人としてのマナーについて学ぶことができ効果的であった。今後も定期的にも実施したい。</p>
---	--	---

	<p>3 創立50周年を迎える伝統ある学校として、地域社会、保護者との連携を図りながら、開かれた学校づくりを進めます。</p> <p>(1) 保護者による、デュアルシステムの視察会を実施します。 (取組状況の指標：実施期間中1回実施) (達成状況の指標：保護者アンケートの結果)</p>	<p>(1) 9月・10月に保護者によるデュアルシステムの見学会を3社で実施した。参加保護者は4名であった。</p>	<p>(1) 昨年度に比べ、保護者の参加が減少した。保護者からは、デュアルシステム参加時には不安であったが子どもの取り組みを実際に見ることができ、安心することができたこと、ご意見をいただくことができた。次年度も参加者を募り、デュアルシステムへの理解をさらに深めていきたい。</p>
<p>学習指導</p>	<p>1 『くくり募集・コース選択制度』の利点を生かした指導計画の充実を図り、基礎基本を大切に魅力ある授業づくりとコース選択の満足度を高めます。</p> <p>(1) 各学年2つ以上の資格取得を目指し、学習意欲の向上を図ります。 (取組状況の指標：授業だけではなく放課後や休日を利用して補習を実施) (達成状況の指標：全校で延べ1000を超える資格取得)</p> <p>(2) 朝のSHRを利用して、漢字力の定着をはかる取り組みを実施し、基礎学力の向上を図ります。 (取組状況の指標：SHRで漢字学習を実施) (達成状況の指標：正解率70%以上)</p>	<p>(1) 資格取得を目指し、放課後や休日を利用して補習を実施した。その結果、2月末で延べ1027の資格を取得することができた。3月末にはさらに増える予定である。</p> <p>(2) 各学期ごとの考査で目標の正答率70%を達成することができた。次年度は80%以上を目指したい。</p>	<p>(1) 昨年度に引き続き100を超える資格を取得することができた。学校全体の取り組みとして資格取得を積極的に奨励し、補習なども実施した結果であると考えている。今後も継続して取り組んでいきたい。</p> <p>(2) SHRを活用して、漢字力、計算力の向上を目指した取り組みを全校的に開始しているが、まだまだ十分な成果は得られていない。本校生徒にとって基礎学力を高めていくことは、進路実現に向けて大きな課題であり、新たな取り組みを考え、今後も基礎学力の向上に向けて努めていきたい。</p>
	<p>3 創立50周年を迎える伝統ある学校として、地域社会、保護者との連携を図りながら、開かれた学校づくりを進めます。</p> <p>(1) 小・中学校への出前授業、中学生対象の体験実習を実施するとともに、桑工祭で「ものづくり」に関する発信を行</p>	<p>(1) 11月12日に隣接する小学生や地域住民、企業の方を招待し文化祭を実施した。幼稚園児48名、小学生75名、地域・企業の方50名が参加した。また、隣接する小学校に出前授業と体験実習、中学生を対象に体験実習を各</p>	<p>(1) 今年度も「地域と歩むものづくり」をキャッチフレーズに地域との連携を積極的にすすめる、学校の持つ教育力を発信することができた。文化祭の公開や授業公開、出前授業などを実施し、小中学生、地域住民、地域企業の方々に多数参加していただくことができた。</p>

	<p>い、工業教育に関する理解を広めていきます。</p> <p>(取組状況の指標：出前授業を小・中学校の要請に応じて実施、中学生対象の体験実習1回)</p>	<p>1回ずつ実施した。</p>	<p>今後も、地域との連携を推進していきたい。</p>
組織能力の向上	<p>1 『くくり募集・コース選択制度』の利点を生かした指導計画の充実を図り、基礎基本を大切に魅力ある授業づくりとコース選択の満足度を高めます。</p> <p>(1) 保護者・評議員・地域の方を対象とした授業公開、教員間の授業参観、授業研究会を実施し、教職員の授業力の向上をはかります。</p> <p>(取組状況の指標：授業公開・教員間の授業参観・授業研究会各1回実施)</p> <p>(達成状況の指標：保護者アンケート・生徒アンケートの結果)</p>	<p>(1) 5月15日に授業公開を実施し、約80名の保護者や地域の方が来校した。11月には教職員による授業参観週間を設定するとともに2名の教職員が研究授業を実施。12月には現職教育として授業研究会を実施した。</p>	<p>(1) 教職員の授業力の向上を目指して授業公開、研究授業週間、授業研究会を実施してきた。この取り組みも3年目を迎え、教職員間にも定着し始め、進んで研究授業を行うなど各自で教育力の向上を目指そうとする動きも出てきている。内容を見直しながら、今後も継続して取り組んでいきたい。</p>
	<p>2 先進的取組を進めてきたインターンシップの蓄積と継続の基に「日本版デュアルシステム」のさらなる発展・進化を図り、キャリア教育の充実、進路希望の実現を目指します。</p> <p>(1) 県外先進校へのベンチマーキングを実施します。実施後は報告会を開催し、確実にその内容を還流し、実践に結びつけます。</p> <p>(取組状況の指標：先進校2校以上ベンチマーキング実施)</p> <p>(達成状況の指標：その内容が教職員に確実に還流され共有される)</p>	<p>(1) 今年度は、東海職業能力大学校を訪問し射出成形、CAD、MCなどの先進機器の指導等についてベンチマーキングを実施した。内容については職員会議で全職員に還流した。</p> <p>ベンチマーキングの受入は1校、デュアルシステム・インターンシップ成果発表会では、他県から5校、県内から5校の参加を受け入れた。</p>	<p>(1) これまで、ベンチマーキングの内容を教職員に還流し情報共有を図ってきたが、どのように活用していくかを十分に検討していくことも必要である。今後も引き続きベンチマーキングを実施していきたい。また、今年度も全国からベンチマーキングを受け入れた。本校の強みとして一層の充実を図っていきたい。</p>

	<p>4 桑名工業高校三原則「挨拶・身だしなみ・きれいな学校」を徹底する中で、生徒一人ひとりに正しい倫理観や道徳観を身につけさせ、生徒の人権感覚を豊かにする基本的生活習慣を確立させます。</p> <p>(1) 教職員の人権意識を高めるために、現職教育の実施を通して人権教育の基本方針の周知、弱い立場の人たちの思いの理解を図ります。</p> <p>(取組状況の指標：現職教育3回実施) (達成状況の指標：教職員アンケート結果)</p>	<p>(1) 人権教育に関する現職教育を2回実施するとともに人権講話を生徒達とともに聴き、教職員の人権意識の向上に努めた。</p> <p>また、中学校区の幼・小・中・高が参加し、連絡協議会を5回開催し、各発達段階での人権教育への取り組みや交流活動などについて話し合いを持った。</p>	<p>(1) 人権LHR等、人権教育にはすべての教職員が関わり推進していく体制が整っている。内容を充実させていくためには、教職員の人権意識をさらに高めることが重要な課題であり、次年度も現職教育を年度計画に加え、必要が生じた場合は追加実施していきたい。</p>
<p>生活指導</p>	<p>3 創立50周年を迎える伝統ある学校として、地域社会、保護者との連携を図りながら、開かれた学校づくりを進めます。</p> <p>(1) 近隣の小学校と共同し地域清掃活動を実施します。また、生徒による地域清掃活動を実施し、環境に対する意識を高めるとともに協同精神を培います。</p> <p>(取組状況の指標：地域清掃活動30回以上実施) (達成状況の指標：参加生徒アンケート結果)</p>	<p>(1) 6月11日に隣接する小学校と地域の清掃活動を実施した。児童、生徒、保護者、教職員約600名が参加した。また、クラブ生徒、生徒会が地域清掃活動を放課後・休日等に71回実施した。生徒アンケートについては実施できていない。</p>	<p>(1) 今年度も地域清掃活動に取り組むとともに、新たに実習にリサイクル機器を導入し、生徒に環境保護の意識を高める取り組みを始めた。次年度も環境美化に積極的に取り組むとともに生徒の意識向上に努めていきたい。</p>
	<p>4 桑名工業高校三原則「挨拶・身だしなみ・きれいな学校」を徹底する中で、生徒一人ひとりに正しい倫理観や道徳観を身につけさせ、生徒の人権感覚を豊かにする基本的生活習慣を確立させます。</p> <p>(1) 桑名工業高校三原則の生徒への呼びかけ、学校行事、生徒通信の定期的な発行</p>	<p>(1) 登校指導等を実施し挨拶運動を行うなど全教職員で呼びかけを行い、多くの生徒が進んで挨拶をすることができている。来校者からは挨拶ができる生徒が多いとの評価をいただいている。</p> <p>保健だよりは毎月発行し、熱中症や</p>	<p>(1) 次年度も桑名工業高校3原則「あいさつ・身だしなみ・きれいな学校」をスローガンに掲げ取り組んでいきたい。身だしなみについては、引き続き重点的に指導を行っていきたい。</p> <p>今年度、新たにクラブ活動等の様子を発信するようにした。様々な場面で啓発活動を行</p>

	<p>等を通して、規範意識や自ら対処できる能力・態度を育成するとともに、仲間を思いやる意識を育成します。</p> <p>(取組状況の指標:全職員による生徒への呼びかけ、禁煙教育などの行事の実施、生指だより・保健だよりの定期的な発行)</p> <p>(達成状況の指標:校内に落ち着いた雰囲気があり、挨拶が常に交わされる。特別指導件数の減少、生徒事故の減少)</p> <p>(2)人権教育推進計画に基づき、人権講話、全職員参加による人権LHRを実施し、人権感覚豊かな生徒を育成します。</p> <p>(取組状況の指標:公開人権LHRを実施)</p> <p>(達成状況の指標:参加者アンケート結果)</p>	<p>新型インフルエンザの予防など、注意を促すことができ、インフルエンザにかかる生徒も減少した。</p> <p>また、生指だよりや学年通信、学校通信等も定期的に発行し、情報発信に努めることができた。指導件数、事故件数とも昨年度を下回り、生徒達は落ち着いて学校生活を送ることができている</p> <p>(2)6月11日と11月19日に全教員が参加して人権LHRを実施した。両日とも一般公開を行った。参加者アンケートでは、取り組み体制や内容などについてご意見・ご感想をいただき、今後の改善に活用していきたい。また、11月4日に2名の講師をお招きし、人権講話を実施した。</p>	<p>うことにより、少しずつではあるが成果が現れている。次年度も各たよりの発行などを積極的に継続して実施していきたい。</p> <p>(2)人権教育にはすべての教職員が関わり推進していく体制が整っている。今後もこれまでの取り組みを継続していきたい。</p> <p>人権LHRでは、人権の問題を身近な問題としてとらえることができ、有意義な内容となった。次年度は実施内容の見直しを行い、さらなる内容の充実に努めたい。</p>
--	--	--	--

(2) 組織の状態の評価結果

アセスメント診断から明らかになった状況	
強 み	(1) 学校経営の改革方針により、取り組む目標がはっきりしているため、全教職員が目標実現に向けて前向きに努力をしている。 (2) 学校経営の改革方針をもとに、各学年・分掌がより具体的な年間目標を策定している。また、各教職員も各学年・分掌の目標に沿って個人目標を設定することに心掛けている。 (3) 学校運営や生徒指導などに対し、全教職員が協力して取り組むことができる。 (4) 本校に対して地域の期待と関心が強く、地域住民や地元企業、保護者等が学校運営に対し協力的である。
弱 み	(1) 改善に取り組むにあたり、具体的にどこで・だれが中心となって取り組むべきなのか曖昧なところがある。 (2) 教職員が個々の問題にそれぞれの方法で対処するなど、個々の教職員の力量に頼る場面が見られる。 (3) 学校の活性化に向けて様々な取り組みを行っているため、十分に時間が確保できないところも見受けられる。

(3) 組織力向上のための取組(改善策)

次年度に向けた取組
(1) 進路指導 ○桑名商工会議所や県教育委員会をはじめとする関係機関等との連携をさらに深め、日本版デュアルシステムやインターンシップをはじめとするキャリア教育の充実を努め、生徒の職業観・勤労観のさらなる向上を目指します。
(2) 学習指導 ○基礎学力の向上を目指すために新たな取り組みを導入するとともに補習などに積極的に取り組み、資格取得や進路希望の実現を目指します。
(3) 組織能力の向上 ○教職員の授業力の向上、安全・安心な教育環境の充実を目指し現職教育の充実を図ります。
(4) 生活指導 ○生徒へのきめ細かい指導の充実を図るため、すべての教職員に対して生徒情報の共有を図るとともに担当者会議を随時開催します。